

第12期(2018年12月期)決算公告

2019年4月1日

山形県鶴岡市覚岸寺字水上234番地1

Spiber株式会社

代表執行役 関山 和秀

貸借対照表

2018年12月31日現在

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	(6,723,540)	流動負債	(697,202)
固定資産	(7,437,860)	固定負債	(451,124)
有形固定資産	4,567,273		
無形固定資産	17,684		
投資その他の資産	2,852,901		
		負債合計	1,148,330
		(純資産の部)	
		株主資本	(13,013,070)
		資本金	11,226,830
		資本剰余金	11,216,830
		利益剰余金	△8,825,666
		自己株式	△604,923
		純資産合計	13,013,070
資産合計	14,161,400	負債純資産合計	14,161,400

損益計算書

自2018年1月1日
至2018年12月31日

(単位:千円)

科目	金額
営業収益	263,307
営業費用	2,900,983
営業損失(△)	△2,637,676
営業外収益	149,807
営業外費用	94,135
経常損失(△)	△2,582,004
特別損失	12,551
税引前当期純損失(△)	△2,594,555
法人税、住民税及び事業税	3,880
法人税等調整額	△12,360
当期純損失(△)	△2,586,075

個別注記表

自2018年1月1日
至2018年12月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式	移動平均法による原価法
投資有価証券		
時価のないもの	移動平均法による原価法

②棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品	個別法及び先入先出法による原価法
-----	-------	------------------

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産 定率法(ただし、建物(附属設備を除く)及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法)を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	5～38年
構築物	7～15年
機械及び装置	4年
車両運搬具	6年
工具、器具及び備品	4年

- ②無形固定資産 定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

自社利用のソフトウェア	3～5年
-------------	------

- ③リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産リース期間を耐用年数とし残存価額を零とする定額法を採用しております。

- ④長期前払費用 支出の効果が及ぶ期間で均等償却しております。

(3) リース取引の処理方法

①ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理をおこなっております。また、未経過リース料の期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、リース料総額から利息相当額の合理的な見積額を控除しない方法を採用しております。

②オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理をおこなっております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等は、税抜方式によっております。